

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 コムシード株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3739 URL https://www.commseed.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 塚原 謙次
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫 TEL 03-5289-3111
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,215	51.2	3	-	△27	-	△228	-
2024年3月期中間期	804	△18.7	△24	-	△39	-	△55	-

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △221百万円 (-%) 2024年3月期中間期 △61百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△17.00	-
2024年3月期中間期	△4.22	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	1,515	579	37.6
2024年3月期	1,744	794	44.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 678百万円 2024年3月期 785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	00.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	0.00	00.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450	17.0	50	39.3	20	10.3	△190	-	△14.11
	~2,600	24.1	~100	178.6	~70	286.0	~△120	-	△8.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2025年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細については添付資料P4「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご確認ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	13,481,316株	2024年3月期	13,451,716株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	148株	2024年3月期	148株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	13,461,434株	2024年3月期中間期	13,232,851株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、ソーシャルゲーム等のモバイルゲームアプリの企画・開発・運営を行う「モバイル事業」と、NFTやGameFiなどを取り扱う「ブロックチェーン事業」を展開しております。

当中間連結会計期間の業績は、売上高1,215,580千円(前年同期比51.2%増)、営業利益3,085千円(前年同期は24,221千円の営業損失)となりました。

また、営業外費用において暗号資産評価損5,670千円、貸倒引当金繰入額23,671千円の計上により経常損失27,792千円(前年同期は39,785千円の経常損失)となり、特別損失において減損損失153,919千円、事業整理損25,604千円の計上や、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額13,979千円の計上により、親会社株主に帰属する中間純損失は228,905千円(前年同期は55,868千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメント別の経営成績と、展開する事業におけるサービス分野別の主な取り組みは以下のとおりであります。

(モバイル事業)

既存のソーシャルゲーム運営を中心に、有料ゲームアプリ販売や受託開発が好調に推移しました。

- ① ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール「グリパチ」において定期的な新アプリの投入やYouTube生放送と連動したイベントなど、各種施策が功を奏し、前年を上回るペースで収益を上げております。
- ② 有料ゲームアプリについては、第1四半期に2タイトルのゲームアプリをリリースしたほか、引き続き、第3四半期以降にリリース予定のタイトルに関する開発を進行いたしました。また、前期第3四半期と第4四半期に発売したタイトルが引き続き好調に推移しており、その結果、前年同期を大きく上回る売上を記録しております。
- ③ 受託開発および運営業務に関しては、ストック型案件、フロー型案件ともに想定通りに推移しております。なお、フロー型案件については引き続き、株式会社アイビープロGRESSで受託開発案件を進行しております。
- ④ ゲーム内広告をはじめとする広告事業については、既存ソーシャルゲーム内の広告と合わせ、無料広告モデルのゲームアプリが好調であり、前年同期を上回って推移しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,172,170千円(前年同期比52.0%増)、セグメント利益は140,800千円(前年同期は15,849千円のセグメント損失)となりました。

(ブロックチェーン事業)

NFTプロジェクト『MONGz UNIVERSE』の進行、並びにブロックチェーン競馬ゲーム『UNIVERSAL STALLION』のリリースを行いました。サービスの継続が困難と判断し、サービスの早期終了並びに全額返金対応を行いました。この結果、当該ゲームタイトルに関する事業整理損及び関連するソフトウェア資産の減損処理をすることといたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は69,771千円(前年同期比21.8%増)、セグメント損失は134,900千円(前年同期は5,551千円のセグメント損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態の状況

当中間連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は1,515,647千円(前連結会計年度末比228,972千円減)となりました。

流動資産では1,305,612千円(同108,083千円減)となりました。これは主に現金及び預金69,651千円の増加があったものの、電子記録債権10,800千円、売掛金66,453千円、暗号資産40,834千円、その他34,871千円の減少と貸倒引当金21,333千円の増加によるものです。

固定資産では210,035千円(同120,889千円減)となりました。これは主に無形固定資産でその他102,687千円の減少によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は935,982千円(同13,662千円減)となりました。

流動負債では909,974千円(同42,458千円増)となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金42,835千円の増加によるものです。

固定負債は26,008千円(同56,121千円減)となりました。これは主に長期借入金56,250千円の減少によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は579,664千円(同215,309千円減)となりました。これは主に資本金6,627千円、資本剰余金6,627千円の増加と、利益剰余金228,905千円の減少によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は692,571千円(前連結会計年度末比64,459千円の増加)となりました。

当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は191,988千円(前中間連結会計期間は19,042千円の使用)となりました。

主な内訳は、減価償却費40,160千円、事業整理損25,604千円、減損損失153,919千円、貸倒引当金繰入額23,671千円、売上債権の減少77,253千円、暗号資産の減少40,727千円、前払費用の減少14,581千円、その他流動資産の減少38,662千円を要因とした資金増加と、税金等調整前中間純損失207,317千円、未払費用の減少24,349千円を要因とした資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は114,964千円(前中間連結会計期間は97,994千円の使用)となりました。

主な内訳は、無形固定資産の取得による支出90,724千円、その他23,671千円の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は11,835千円(前中間連結会計期間は86,369千円の獲得)となりました。

主な内訳は、長期借入金の返済による支出11,865千円の資金減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、主力事業であるソーシャルゲーム「グリパチ」に加え、ゲームパブリッシング事業や安定した収益が見込める受託事業を軸に収益基盤を維持しております。そのうえで、当社グループが中長期的な成長を目指すには、「グリパチ」に続くコアタイトルの育成と収益源の多様化が重要となるため、引き続き新規タイトルの発掘育成を継続していくほか、新たな事業開拓を継続し、引き続き業容拡大を目指してまいります。

2025年3月期の通期連結及び個別業績の予想につきましては、モバイル事業については有料アプリのキラータイトルを継続的にサービス展開することで増収増益が期待できるほか、既存ソーシャルゲームや受託開発・運営事業についても堅調に推移すると見込んでおります。

一方、ブロックチェーン事業については、不採算事業の整理による事業基盤の再構築、及び事業方針の変更を実施したことにより、新規投資の抑制及び固定費用の削減を見込んでおります。

なお、モバイル事業において、当第3四半期以降に計画している新規タイトルのリリース時期や成長率等の不確定要因を含む複数のシナリオを勘案し、レンジ方式での開示といたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	650,919	720,571
電子記録債権	24,800	14,000
売掛金	358,216	291,763
棚卸資産	23,656	20,214
短期貸付金	200,000	200,000
暗号資産	49,252	8,417
その他	107,800	72,928
貸倒引当金	△949	△22,282
流動資産合計	1,413,695	1,305,612
固定資産		
有形固定資産	8,156	7,180
無形固定資産		
のれん	5,641	2,820
その他	200,500	97,812
無形固定資産合計	206,142	100,633
投資その他の資産		
その他	187,064	102,220
貸倒引当金	△70,438	-
投資その他の資産合計	116,626	102,220
固定資産合計	330,924	210,035
資産合計	1,744,619	1,515,647
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,797	131,329
短期借入金	375,000	368,800
1年内返済予定の長期借入金	13,555	56,390
契約負債	161,899	156,493
引当金	2,880	2,880
その他	180,384	194,082
流動負債合計	867,516	909,974
固定負債		
長期借入金	56,250	-
役員退職慰労引当金	18,427	18,427
退職給付に係る負債	7,451	7,580
固定負債合計	82,129	26,008
負債合計	949,645	935,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,193,011	1,199,639
資本剰余金	624,120	630,748
利益剰余金	△1,036,098	△1,265,003
自己株式	△53	△53
株主資本合計	780,980	565,331
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,076	4,907
その他の包括利益累計額合計	△2,076	4,907
新株予約権	16,070	9,426
純資産合計	794,974	579,664
負債純資産合計	1,744,619	1,515,647

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	804,067	1,215,580
売上原価	519,356	825,621
売上総利益	284,711	389,959
販売費及び一般管理費	308,932	386,873
営業利益又は営業損失(△)	△24,221	3,085
営業外収益		
受取利息	1,545	1,589
受取賃貸料	891	3,182
暗号資産売却益	1,791	—
補助金収入	343	—
その他	217	1,138
営業外収益合計	4,789	5,909
営業外費用		
支払利息	3,456	7,375
暗号資産評価損	8,396	5,670
貸倒引当金繰入額	—	23,671
雑損失	7,313	70
その他	1,186	—
営業外費用合計	20,353	36,787
経常損失(△)	△39,785	△27,792
特別利益		
新株予約権戻入益	848	—
固定資産売却益	15	—
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	870	—
特別損失		
減損損失	7,693	153,919
事業整理損	—	25,604
特別損失合計	7,693	179,524
税金等調整前中間純損失(△)	△46,608	△207,317
法人税、住民税及び事業税	3,245	7,608
法人税等調整額	6,014	13,979
法人税等合計	9,260	21,588
中間純損失(△)	△55,868	△228,905
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△55,868	△228,905

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△55,868	△228,905
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,620	6,983
その他の包括利益合計	△5,620	6,983
中間包括利益	△61,488	△221,921
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△61,488	△221,921

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△46,608	△207,317
減価償却費	16,663	40,160
減損損失	7,693	153,919
事業整理損	—	25,604
のれん償却額	2,820	2,820
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,114	165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△144	△949
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	—
株式報酬費用	6,240	6,582
新株予約権戻入益	△848	—
受取利息及び受取配当金	△1,546	△1,589
支払利息	3,456	7,375
貸倒引当金繰入額	—	23,671
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△1,329	△473
売上債権の増減額(△は増加)	31,258	77,253
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,764	3,441
暗号資産の増減額(△は増加)	37,444	40,727
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,109	△2,468
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△25,094	38,662
前払費用の増減額(△は増加)	△55,188	14,581
長期前払費用の増減額(△は増加)	△728	△42
未払費用の増減額(△は減少)	4,058	△24,349
契約負債の増減額(△は減少)	573	△5,405
その他の流動負債の増減額(△は減少)	23,273	7,562
その他	3,936	—
小計	△15,833	199,934
利息及び配当金の受取額	41	85
利息の支払額	△594	△937
法人税等の支払額	△2,656	△7,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,042	191,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,439	△568
無形固定資産の取得による支出	△105,166	△90,724
投資有価証券の売却による収入	8,901	—
差入保証金の差入による支出	△5,015	—
差入保証金の回収による収入	4,725	—
その他	—	△23,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,994	△114,964
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	98,999	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	15	29
長期借入金の返済による支出	△12,645	△11,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	86,369	△11,835
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,277	△728
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△29,389	64,459
現金及び現金同等物の期首残高	598,408	628,111
現金及び現金同等物の中間期末残高	569,018	692,571

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	合計
	モバイル事業	ブロックチェーン事業	計		
売上高					
一時点で顧客に移転される財又はサービス	640,950	49,667	690,618	—	690,618
一定の期間にわたり顧客に移転される財又はサービス	113,449	—	113,449	—	113,449
顧客との契約から生じる収益	754,400	49,667	804,067	—	804,067
外部顧客への売上高	754,400	49,667	804,067	—	804,067
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,775	7,600	24,376	△24,376	—
計	771,175	57,268	828,443	△24,376	804,067
セグメント損失（△）	△15,849	△5,551	△21,400	△2,820	△24,221

（注） 1. セグメント損失の調整額△2,820千円は、のれんの償却額であります。

2. セグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「モバイル事業」において減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において7,693千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	合計
	モバイル事業	ブロックチェーン事業	計		
売上高					
一時点で顧客に移転される財又はサービス	1,016,274	20,293	1,036,567	—	1,036,567
一定の期間にわたり顧客に移転される財又はサービス	142,293	36,720	179,013	—	179,013
顧客との契約から生じる収益	1,158,567	57,013	1,215,580	—	1,215,580
外部顧客への売上高	1,158,567	57,013	1,215,580	—	1,215,580
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,602	12,758	26,360	△26,360	—
計	1,172,170	69,771	1,241,941	△26,360	1,215,580
セグメント利益又は損失（△）	140,800	△134,900	5,900	△2,814	3,085

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,814千円は、のれんの償却額△2,820千円とセグメント間取引消去6千円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブロックチェーン事業」において減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において153,919千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,627千円増加し、当中間連結会計期間末において資本金が1,199,639千円、資本剰余金が630,748千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。